

# ⑦いかす・なら地域計画

## 計画作成・実施体制

協議会：いかす・なら地域協議会

自治体：奈良県

中核文化観光拠点施設（設置者）：奈良国立博物館（独立行政法人国立文化財機構奈良国立博物館）、奈良県立美術館（奈良県）、奈良県立民俗博物館（奈良県）、奈良県立橿原考古学研究所附属博物館（奈良県）、奈良県立万葉文化館（奈良県）、なら歴史芸術文化村（奈良県）

文化観光推進事業者：

西日本旅客鉄道株式会社、近畿日本鉄道株式会社、奈良交通株式会社

## 計画期間

2020年度～2024年度（5年間）

## 目標

・外国人来訪者の満足度

2018年 96.2%→2024年 96.2%

・外国人来訪者数

2018年 2,580千人→2024年 4,500千人（約1.7倍）

※10年後（2029年）は5,600千人（約2.2倍）

・外国人宿泊者数

2019年 461千人→2024年 1,000千人（約2.2倍）

## 地域文化観光推進事業

### <1.文化資源の魅力の増進>

・テーマを設定し、複数の文化施設等が連携した誘客イベントを実施

### <2.文化観光に関する利便の増進>

・拠点施設等の共通入館券等の導入

### <3.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>

・宿泊施設等と連携した特別パッケージツアーの造成

### <4.国内外への宣伝>

・海外の博物館等と連携した文化財等の海外・本邦展覧会等（アジア・欧米）

### <5.施設又は設備の整備>

・県内全域の文化観光のゲートウェイの役割を担う複合施設「なら歴史芸術文化村」の整備（文化財保存修復作業の常時公開、伝統工芸品・農産物等の販売、宿泊施設の併設等）

## 文化クラスター推進事業費（令和2年度・要望ベース）

7,500万円

## 計画区域

